

問題対応力

ここでは、1つのやり方・考え方に固執せず、多様な方法で解決した実例を記載している。

1：出力画面の認識

<RPA に必要だった動作>

- ・設計図面の大きさによって PDF 出力が、30 秒～5 分とバラツキがあった。
そのため、「PDF 出力中」のポップ画面を RPA に認識させる必要性があった。

<問題>

- ・図面設計ソフトに付随している PDF ドライバーでは、PDF 出力時のポップ画面を RPA が認識しなかった。

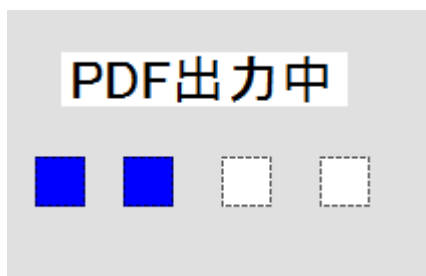
<解決方法>

- ・Adobe のドライバーに変更することで、RPA がポップ画面を認識できるようになり解決した。

<解説>

ソフト付属の PDF ドライバーの出力画面

※イメージ図



×：RPA が認識しなかった。

Adobe ドライバーの出力画面

※イメージ図



○：RPA が認識した。

2：ファイル名を半角英数字で保存したい

<RPA に必要だった動作>

- ・キーボード入力が「全角」の場合、「半角」に変更する必要性があった。
そのため、現在「半角」「全角」のどちらなのか？を認識する必要性があった。

Windows7 の右下のツールバーの画面

半角時の画面



全角時の画面



<問題>

- ・上記の画面の文字(A、あ)が小さいため、RPA が認識しなかった。

<解決方法>

- ・仮のファイル名で一旦ファイルを保存し、その後ファイル名を半角英数字に変更することで解決した。
- ・RPA コマンドを使うことで、キーボード入力が「半角」「全角」に関わらず半角英数字で入力できた。

<解説>

下記の動作は、**RPA が全て自動で行っている。**

①仮のファイル名で、一旦ファイルを保存をする。

特徴：RPA が自動で、キーボードの「A」を3回入力する。

例：Excel の保存時

キーボード入力が半角時の画面

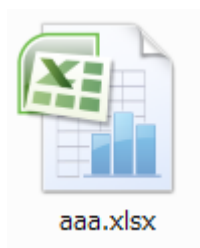
ファイル名(N):	aaa.xlsx
ファイルの種類(I):	Excel ブック (*.xlsx)

キーボード入力が全角時の画面

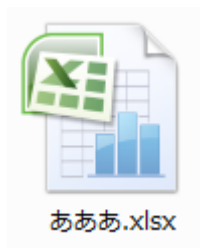
ファイル名(N):	aaa.xlsx
ファイルの種類(I):	Excel ブック (*.xlsx)

②RPA のコマンドを使い、ファイル名を指定された半角英数字に変更する。

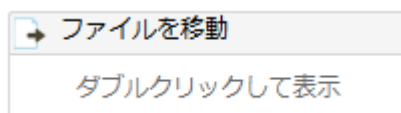
半角時



全角時



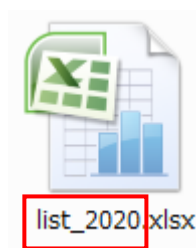
RPA コマンドの画面



コマンド解説：

移動後のファイル名を
変更できる(特徴：変数が使える)

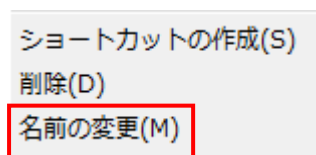
ファイル名変更



(RPA コマンドを使う理由)

- ・右クリックで「名前の変更」よりも、**RPA コマンドの方が安定して動くため。**

Windows7 でファイルを右クリックした時の画面



↑こちらの方法だと、安定しない場合がある。

- ・RPA コマンドの方が、プログラムのコードが短くなるため。